

【山梨県忍野村立忍野幼稚園PTA】

【特徴的な活動について】

「全員参加型のPTA活動」

- ・PTA役員選出を全会員の話合いで決めている。
- ・PTA役員と園の職員の協力体制をつくり、園の諸活動の企画・運営に当たっている。
- ・「できることを、できる範囲で！」を合言葉に、会員相互の協力体制を大切にし、園児だけでなくPTA会員の笑顔も大切にする活動を展開している。
- ・諸活動の係(役割)を全会員で分担し、全員参加型の活動を展開している。(係は5つ:夏祭り、お手伝い、環境整備、図書、読み聞かせ)。
- ・保護者参観日を、家族参加とし、日常の園児の散歩コースを使ったオリエンテーリング大会を実施している。家族と一緒に歩きながら、楽しみながら交通安全学習を行っている。
- ・「年長児茶道体験教室(年2回実施)」で、子どもたちが点てたお茶を保護者に振る舞うことで、親子と一緒に伝統文化に触れる機会としている。
- ・年少児保護者を対象とした「給食参観・試食会」を行い、子どもの様子を見たり、栄養士による研修会(栄養指導・食育)を実施している。
- ・夏休みの後半に、PTA主催の「夏祭り会」を開催し、出店やゲームなどで楽しみながら、子ども同士、保護者同士の交流の場とし、2学期に向けての子どもたちの身体と心の環境を整える機会としている。
- ・PTAのボランティアメンバーによる、デイサービス施設訪問(幼稚園の前)を定期的実施し、お年寄りとのふれあいの場をつくっている。

【成果と課題】

- ・全員参加型の活動を目指し、それぞれの担当係が中心となり各活動を企画・運営してきたので、諸行事への参加数が増え、活発な活動ができた。
- ・園児の活動を保護者に参観してもらうことで、園の教育方針の理解が進んだ。また、保護者同士の繋がりも深まった。
- ・幼稚園の諸行事を地域に開放したり、ボランティア活動(地域の福祉施設への会員による慰問等)を行うことにより、地域との連携を図ることができた。
- ・さらに、家庭・園・地域の連携を充実させ、園児の保育が完全となるような活動を推進していきたい。

所在地:山梨県南都留郡忍野村忍草1437

地域の特徴:幼稚園への関心が強く、協力的である。

幼稚園の特徴:幼児主体の活動を展開し、豊かな園生活ができるような活動を推進している。

園児数:127人 教員数:11人



幼稚園外観



運動会入場門



読みきかせ会



茶道教室



花の苗植作業



本の修繕作業

長野県明科高等学校PTA ～ 地域とともに歩むPTA ～

所在地:長野県安曇野市 / 全校生徒数: 392名

学校の 特徴

昭和61年創立、昨年30周年を迎える。体験的な学習や地域との交流を通して、地域を知り、一人ひとりが社会の中の大切な一員であることを実感させる教育を实践。26年度には地域におけるボランティア活動が評価され、内閣府の「社会貢献青少年表彰」を受けた。

地域の 特徴

明科高校設立は、明科町民(当時)の悲願であり、町をあげて高校生を歓迎。市民と行政による「明科いいまちつくろうかい!!」を立ち上げ、同24年からは明科高校生徒会も話し合いに参加。地元の高校を大切にする土壌があり、同時に高校生のもつ力に期待を寄せてくれている。

全保護者のOB・OG会「後援会」～卒業後も支え続ける～

○後援会設立の背景

明科高校が若い学校で同窓会員が若いために学校を支える組織として考え出された。自分の子供が卒業した後も、物心両面で、PTA活動、学校を支えてくれている。

○OPTAの主な取組

(1) 行事への支援

【マラソン大会での豚汁・おにぎりのふるまい】

発端は旧PTA会長の発案による。旧PTA会長より窯、竈を借り、薪を譲り 受け実施している。

【文化祭での模擬店出店】

PTA役員が中心となり、郷土食「おやき」や「輪投げ」といった模擬店を出店し、文化祭成功の一助となっている。

(2) 「明科高校を語る会」の開催

平成24年、PTA役員から生徒会と何か活動がしたいと要望が出されたのを機に、生徒会と保護者が連携して話し合いの場を設定。地域の方も招いて「明科高生はどのように地域住民から見られているのか」等、テーマを毎回設定して話し合いを行なう。

(3) 電車乗車指導

年に1回、教員とともに地域に出て、電車乗車指導や交通マナーの指導にあたる。

(4) 「心の相談員」配置事業への支援

スクールカウンセラーの他に、学校独自に3人のカウンセラーを配置。それぞれ月1～2回来校いただき、生徒のカウンセリングをお願いしている。その報償費をPTAが賄っている。

○OPTA活動の象徴である「平成の森」に誓う

敷地内にある「平成の森」は、後援会顧問である歴代PTA会長が建設委員に名を連ね、自然の趣豊かな学校づくりへの協力と、環境保全の願いを込めて整備されたものである。平成3年には、長野県高等学校PTA連合会事務局を務めたのを記念して、「東山魁夷画伯文学碑」も建立された。

課題

明科地区及び近隣地区以外の保護者の関わりを増やす取組が今後の課題。



平成24年 第1回
明科高校を語る会

地域からは、元教育
長、公民館長、NPO
代表、町内会長、祭
典保存会長、社協、
同窓会長の皆様に
御参加いただしてい
る。

文化祭「流河祭」
での模擬店の様子



平成の森と東山
魁夷画伯文学碑

成果

・本校草創期より、PTAの果たす役割は大きく、職員、生徒とともに学校づくりを進めてきたという連帯感がある。良い関係が更なる活動の広がりにつながっている。
・PTA後援会の存在が、次の世代のPTAを支えるとともに、卒業後も地域の一員として学校を支え、地域とのつながりを深める存在になっている。

【長野県教育委員会】

岐阜市立早田小学校PTA

所在地: 岐阜県岐阜市学園町2-35 / 全校児童数: 435名

学校を舞台に親子で楽しく活動!

学校の特徴

創立60年(昭和31年創立)を迎える、歴史ある学校である。学校教育目標「皆の幸せ 進んで行動」を掲げ、確かな考えと温かい心、丈夫な体の育成に取り組んでいる。敷地内には、長良川の伏流水が流れるビオトープと広々とした芝生広場があり、地域の方々の協力の下、よりよい環境整備に努めている。

地域の特徴

平成25年度から学校運営協議会を設け、地域住民が子どもたちの豊かな成長を支える一員として学校運営に関わっている。「早田ふれあいデー」では、地域の各種団体の方々が講師となって昔の遊び等を教え、子どもたちと心の交流を図っている。また、地区防災活動に子どもたちも参加させるなど、地域の未来を担う子どもたちの育成に熱心である。

活動内容

<親子ビオトープ遊びの日>生き物観察で自然の素晴らしさに触れ、さらにビオトープ整備活動を通して自然環境を守る大切さを考える。
<早田小親子宿泊体験の日>学校敷地内の芝生広場を避難場所と想定し、テントを張って避難体験をすることを通して、防災意識を高める。
<家族に感謝しよう大作戦>家庭で親子で料理をし、互いの思いを伝えあい、「食」の大切さと家族への感謝を再認識する。

特徴的な活動

ビオトープ遊びの日

○親子で環境保全を考える

①親子で活動

- ※魚やエビ、貝などの生き物観察
- ※ビオトープ内の石拾い
- ※ビオトープの石組みや植物の植え込み

②親子で考える

- ※よりよい環境にするには?

③実際の川遊び

- ※少年自然の家の出前講座
- ※生き物観察と遊び



早田小宿泊体験の日

○親子で避難所での生活を体験する

①親子でテント設営

- ※芝生広場にテント設営

②親子で食事

- ※アルファ米などの非常食体験

③保護者同士の交流

- ※夜中は、子どもの安全を見守る保護者同士が、じっくり交流



家族に感謝しよう大作戦

○親子で「食」を考え、感謝の気持ちを伝え合う

(夏)

- ※家庭で親子で料理をする。
- ※子から親へ、親から子へ、それぞれ手紙を渡し、子どもは感謝の気持ちを、親は子どもの成長を実感する。

(秋)

- ※「早田ふれあいデーはおにぎりデー」として、子どもが弁当のおにぎりを作って登校する。「食」への関心を高め、「食」を通して子どもの自立心と家族への感謝の気持ちを高める。

成 果

・学校を舞台に、学校の施設の特徴を生かして活動を仕組むことで、保護者と学校双方への理解が深まり、他のPTA活動においても、保護者と学校の協力が円滑に行われるようになった。

・「環境」や「防災」、「食」といったテーマを設定することで、活動目的が明確になり、各活動の内容に工夫が図られた。その結果、テーマについて親子で楽しみながらじっくり考えることができた。

課 題

・地域主催の防災活動とPTA主催の「早田小宿泊体験」を連携させるなど、親子の絆を深めることに加え地域住民との絆づくりにもつながる取組を工夫することで、地域全体で子どもの育成を図る風土を醸成する。

【岐阜県教育委員会社会教育文化課】

焼津市立さつき幼稚園父母と教師の会

所在地: 静岡県焼津市 / 全園児数: 63名

『育てよう 心とからだ』～親子で話そう! 家庭のきずな～

園の特徴

園目標「明るく元気な子」、重点目標「友達とかかわりあいながら、思いを伝えあって遊ぶ子」を目指して、行事などでPTAと連携。

地域の特徴

焼津市は、静岡県の中部に位置し、東に駿河湾を臨み、カツオ・マグロ・アジ・サバなど全国有数の水揚げを誇る漁港を有している。東海道、東名高速道路など交通の便が良く、自然環境にも恵まれている地域である。

活動内容

PTA活動テーマ「行事を通して絆を深める ～心と身体を育てる」

心

「笑顔であいさつ・楽しい会話」

- 夏祭り～地域活動との連携
- 地域への遠足～地域の見守り
- バザー、お店屋さん
- 障がいをもつ子ども達との交流



体

「おいしく食べて元気に遊ぶ」

- 野菜づくり～収穫・調理・食事(ジャガイモなど)
- 「クリスマスを感じるお弁当」づくり～レシピ交換
- 餅つき大会～祖父母とともに伝統行事の伝承

さつき学級 (家庭教育学級)

○年7回の講座を開催。

○子育て勉強会や、家庭教育ワークシート「つながるシート」を活用した家庭教育講座を行い親子の触れ合い、親同士のつながり、親の学びの機会を設定。



ボランティア さつきっず

○全会員が、ボランティアグループとなり園生活の充実を推進している。

○自主的に園行事のボランティア活動に協力している。

○読み聞かせや劇など、他園にも披露し子どもの心を育成している。



未就園児園庭開放 ひよこ広場



○OPTAと園が共同で園庭等を開放し、未就園児を受入れ。

○子育ての相談を受けたり親子の親睦を図る場に。



※家庭教育ワークシート「つながるシート」
県教育委員会が作成した親同士が集まって悩み等を話し合いつなげるためのツール

成果

- ・行事を通じて、保護者同士のコミュニケーションをとることができた。また、子どもとの共通の話題ができ、親子の会話が進んだ。
- ・「つながるシート」を使った家庭教育講座により、子育ての悩みや不安が軽減し、親同士が支え合える家庭教育につながっている。
- ・自らお弁当づくりを行ったことや、自分達で育てた野菜で料理を味わったことなどで、生育への関心や感謝の気持ち、食への関心が高まった。

課題

- ・一部の保護者に負担が集中しないよう分担する必要がある。
- ・地域の方々とのさらなる連携と協働。

刈谷市立小垣江小学校PTA

所在地 愛知県刈谷市

全校児童数 602名



家庭・地域・学校のふれあいを深めよう

学校の特徴	開校108年目を迎える伝統ある学校。地域の協力を得て、ホタル保護活動や水稲アートなど活気ある教育活動が行われている。
地域の特徴	自然が多く、のどかな住宅街。三世帯同居の世帯が多く、町内会、老人会、子ども会、PTAなど地域ぐるみの活動が活発に行われている。
活動内容	PTA主催の「オガピカボランティア」「オガピカレンジャー」「小垣江ふれあい村」は、PTA、児童、教職員が自主的に参加して交流を図っている。また、「おやじの会」「図書ボランティア」と連携しながら教育活動を支えており、子どもたちの登下校の見守りは、地域の協力を得て行っている。

特徴的な活動

オガピカボランティア

ぴかぴかになって
きもちいいね!



PTA主催の奉仕活動で、おやじの会を中心に、校内の側溝清掃やガラス拭きなどのボランティアを親子で行い、校内美化に努めている。

小垣江ふれあい村

ブースがいっぱい。
たのしいね!



PTA、地域の公民館、婦人部、消防団、青年団、幼稚園、教職員の各ブースが設けられ、家庭・地域・学校のふれあいを深めている。

小垣江PTA見守り隊

おはようございます!
見守りありがとうございます。



授業参観日に親子登校して危険箇所を調べたり、あいさつ運動や交通指導当番をしたりして、会員全員が児童の登下校の安全を見守っている。



【成果】

☆地域の方も協力的で、家庭・地域・学校が一体となった活動ができ、子どもたちに地域を愛する意識が育ってきている。

【課題】

★平日に開催する講演会や講習会への参加率を上げる工夫をしていくことが、最大の課題である。

伊勢市立大湊小学校 P T A

所在地: 三重県伊勢市 / 全校生徒数: 児童102名

全PTA会員が適材適所で連携して活躍中!

学校の特徴

進んで挨拶をし、よく働き、下級生の面倒見のよい子が多くいます。外で遊ぶ子が多く、読書を好む子も増えてきています。防災学習・環境学習を中心に、地域に根差した学習を推進しています。

地域の特徴

海運・造船等の古い歴史と伝統が息づく、宮川河口に広がる海に囲まれた町、大湊。造船は以前ほどさかんではありませんが、いくつかの工場もあり、昔のおもかげを残しています。地形的には宮川、五十鈴川、海に囲まれ自然の恩恵を受けています。

活動内容

年々会員数が減少傾向にある中、組織運営の方法をこれまでのPTA役員中心から、行事ごとに全PTA会員による適材適所の役割分担方式に変更し、運営の効率化を図りながら活動をしています。

特徴的な活動

具体的な取組について

大湊町防災訓練への参加

○学校教育及び家庭教育に関する助言・協力
授業参観日、学校開放日など、学校が保護者・地域に対して広く公開する際、助言・協力をしている。

○地域の教育環境の改善
通学路の危険箇所点検を随時行うとともに、毎週土曜の自治会夜間パトロールへの参加、伊勢警察署大湊駐在所との連携など、児童および地域の安全・安心に寄与している。

○児童の学校外活動の促進
地域をあげて行う「秋祭り」での児童による「みこし・鼓笛パレード」の誘導業務等、地域行事に本部役員が中心となりPTA会員が分担して参加。

○各種機関・団体との連携協力
一小学校区、一自治会の強みを活かし、地域行事・放課後児童クラブ・子どもを守る会などへ積極的に参画し、地域連携型の活動を行ってきた。

【開催時期】11月頃

東日本大震災の発生以降、地域における「地震・津波」の発生に備えて毎年行う「大湊町防災訓練」に、学校が「土曜授業」の一環として参加するのに合わせて、PTA役員も、児童への非常食の準備・配布や防災体験コーナーへの参加を中心に、全面的に協力体制をとっている。

○工夫している点

PTA会員が、児童の保護者としての立場だけでなく、地域住民の一員として、様々な形で、地域の安全・安心に関する活動に参画することを通して、地域のコミュニティー形成の役割を担うことができるように、努めている点。



○運動会・文化祭などへの参加協力

地域の方が多数来校する機会となる、学校行事の企画・運営を全面的に支援。

○児童の安全・安心確保のための見守り活動

防災訓練参加・危険箇所点検・自由水泳監視
救急法講習会・校区内パトロール
自治会夜間パトロール・交通安全母の会活動

秋祭りの様子



○その他の活動

救急法の様子



広報誌発行・教養講座
ドッジボール大会
奉仕活動
講演会・研修会
ボランティア活動など

成 果

・地域の行事にPTAが積極的に参加することで、地域が一丸となって、学校の応援団となり、子どもたちの成長を見守り育ていこうという機運が高まった。
・年々PTA会員数が減少傾向にあるにもかかわらず、物心ともに限られた状況下で会員が知恵を出し合うことを通し、会員相互間の協力体制がより緊密なものとなってきた。

課 題

・少子化に伴う、会員数の減少により、年々PTA活動に活用できる予算額が減り、様々な活動に必要な経費の確保が困難になりつつある。また、活動できる人数も減員となっているため、数年先には、活動内容の縮小・廃止も検討する必要性が生じてくる可能性がある。今のうちに、数年先のPTA活動のあり方について検討していく必要がある。

彦根市立金城小学校PTA

所在地:滋賀県彦根市 / 全校生徒数:児童 651名(H27年度)

テーマ

金城小学校から発する活気で、地域全体の活気を高める活動の展開

学校の特徴

移転開校41年目。以前は金亀城(現:彦根城)の麓にあったが、人口増加、学区編成により現在地に移転。

地域の特徴

主要8団体の幹部と自治会長によって人員構成される『健やか金城の会』が物事を中心となり、安全安心の暮らしづくりと活気ある地域行事が企画推進されている。

平成27年度活動方針

広げよう!子どもへの関心
示そう!個性への興味
~みんなの「すごいね」で
子どもの魅力を引き立てる~

活動目標

子ども、保護者、先生、各種団体の
全ての人と人が「つながり」を持ち
子ども達を見つめる目を増やす

つながり強化の取り組み

1. 学校運営円滑化への協力
日常生活、各種行事における安全確保と
意見提起
2. 地域との信頼関係の醸成
各種地域行事への積極的な参画による
連携力の強化
3. 金城学区関係者全員が共有できる思い出づくり
新春もちつき大会の開催による盛大な新年の
幕開け
4. 教育活動効率化への貢献
PTA研修会、愛校清掃、寄贈品の贈呈

活動イメージ



カフェの様子



寄贈品

ひらがな表記の校歌額



平成27年度の主な取り組み

【7月】金城夏祭

【概要】健やか金城の会を中心とした、**個人の志と地域商店協力**による
手作りの金城学区における夏の一大イベント。
【工夫した点】・実行委員会への参加による担当ブースのMY店舗化。
・前年度の反省を活かした調理、販売の効率化

【10月】うどんバザー

【概要】体育振興会の昼食班として、**釜で茹でたうどん**を販売する。
【工夫した点】・自治会、一般店舗と協力した販売数の拡大。
・スタッフの交代シフト作成による疲労軽減。

【11月】金城ハーモニーカフェ

【概要】音楽会にきたP会員、PTA活動でお世話になっている地域の方を、
本年度PTA活動の展示とカフェメニューにでもてなす。
【工夫した点】
・身体障害者施設との連携によるオシャレなお菓子の提供。
・子ども達が作成した招待状による子ども見守り隊メンバーの無料招待。

【1月】新春もちつき大会

【概要】学校、地域、PTAが子ども達と一緒に、杵と臼を使った昔ながらの
もちつきによって、楽しく、美味しく新年の幕開けを祝う。
【工夫した点】
・スポーツ少年団への参加呼びかけ、お手伝い希望者の範囲拡大による
行事盛況化への注力。
・各種行事の収益を活用するために特別会計を設置。

成果

- 平成27年度PTA活動における事故、ケガ等、災害発生件数0件の達成。
- 各種団体との迅速な情報交換体制の構築による子ども見守り体制の強化。
- 地域イベントの活性化による人と人の交流促進。
- もちつき大会の盛況化による学校と地域の活力UPへの貢献。
- 教育活動におけるロスの改善による先生の負担減。
- 「会長が全役員の世話役」という姿勢の公表により、個人の不安が抑制され、「やってみよう」を引き出し、役員満足度の向上となった。

課題

- PTA活動の更なる活性と積極参加の促進
- 外国人保護者に対するPTA活動の理解向上
- 学級委員選出会における雰囲気改善
- 地区別役員選出会における平等性の向上
- 地域を支える各種団体幹部役員の担い手確保 等



京都市立上京中学校PTA

【特徴的な活動】

「すべては子どものために」という理念の下、学校運営協議会と深く連携しながら、見守り活動や教育環境整備へ向けた取組を行っている。

○朝のあいさつ運動

毎月1回、生徒の登校状況を見守り、声をかける活動

○校内美化・園芸活動

春、夏季休業、秋と年3回、生徒とともに校内外の美化・園芸活動を実施

【成果と課題】

○様々な取組を通して、多くの保護者がPTA活動に関わることができた。

○きちんとした理解を得ながら、PTA活動を継承し、発展させていくことが課題。

所在地:京都市上京区一条通室町西入東日野殿町
地域の特徴:番組小学校にルーツをもつ学区に囲まれ、地域の諸活動が充実し、学校に大変協力的である。
学校の特徴:校区内に京都御所や、伝統産業を営む西陣を含んでいる。
全校生徒数:451人

生徒たちの見守り活動と 共汗による美化・園芸活動



【京都市教育委員会生涯学習部家庭地域教育支援担当】

太子町立山田小学校PTA

所在地：大阪府南河内郡太子町大字山田372 / 全校児童数：児童 205名



子どもたちが安全に安心して過ごせるための学校・家庭・地域が連携した活動

学校の特徴	「確かな学力」「解決する力」「豊かな心」「健康で安全な生活」の4つの教育目標を達成するために、学校と家庭が連携協力して教育活動を行っています。
地域の特徴	大阪府の南東部に位置した豊かな緑と歴史に溢れた、聖徳太子ゆかりの町です。万葉集にも詠われた二上山のふもとにある、自然に囲まれた小学校です。町内には聖徳太子御廟をはじめ、数多くの歴史遺産が点在しています。
活動内容	子どもたちが安心して通学できる環境づくりのために、地区委員が中心となり通学路の安全確保を行っています。また、町内の行事や委員会活動にも積極的に参加協力し、地域との連携を密にしたPTA活動を展開しています。

特徴的な活動

○通学路の安全確保のための取り組み

*各地区委員で危険箇所の把握と報告会を実施し、子どもたちが考案した学校のキャラクター「やまっち」を使用した啓発看板を作成し、通学路に掲示しています。

*地区ごとに当番を決めて、登校時に通学路にある交差点に立ち、安全確保を行っています。

○地域団体と連携した活動の実施

*町で実施しているイベントへ参画し、町内の地域団体との連携を図っています。また、各種団体の委員としても所属し、各種事業の運営協力など幅広く子どもの健全育成に努めています。

○親子交流会の開催

*親子の絆づくり、保護者同士の親睦を深めるために、各学年ごとにレクレーションを企画し、多彩なプログラムで親子交流会を実施しています。



「やまっち」の啓発看板



登校時の見守り活動の様子



3年生 親子キンボール大会の様子



ふれあいTAISHIへ出店



6年生 親子バームクーヘン作りの様子

成果と課題

成果

通学路に小学校オリジナルの啓発看板を設置することにより、地域住民へも子どもの安全確保の意識を持ってもらうことができています。

課題

子ども数の減少もあり役員数も少なく、登校時の旗当番が毎日実施できる地区もあれば、月に3回～5回程度しか実施できない地区もあったりと、ばらつきが生じていることが課題です。

